

看護大学 だより #2

新しい学び・人・キャンパス
福岡看護大学の魅力を
ご紹介します!



入学式から早や2カ月。講義や演習にいそしむ中、6月7日に第1期生119名は真新しい白衣に身を包み、福岡学園関連施設である福岡歯科大学医科歯科総合病院やサンシャインシティをはじめとする3つの介護老人施設の見学研修を行いました。看護師になる道のりの第一歩です。初めて白衣を着た時には「爪が長い!」「髪が茶色い!」と教員からの温かい、いや熱い洗礼を受けましたが、この日の学生はみな立派な医療従事者に見えました。研修を終えた早嶋彩伽さんと南雲沙也佳さんは「実際に施設や病院を見学させていただき、教科書だけでは分からなかった現場の雰囲気や対象者への細かい配慮、施設ごとに異なる看護師の役割について学ぶことができた。『他職種連携』の大切さも実感できた。今後はもっと視野を拡げて学業に臨みたい。」と話してくれ、入学して間もないこの早い



時期に見学研修ができたことについて他大学の友人から羨望の眼差しを向けられたエピソードも教えてくれました。各自一人の患者さんを受け持ち、日常生活援助などを実際に行う来年2月の基礎看護学実習まで、あと半年余り。これまで以上にハードな日々、学生も教職員も一緒に飛び込んでいきます。
(大久保つや子・寒水章納)

短大 VOICES #2

夢を叶える場所
「福岡医療短期大学」
多くの出会い・絆を生んでいる
短大の情報をお届け!



社会福祉法人 博仁会
リハモール福岡
榑崎 崇雄

夏を迎える前の今日、蒸し暑い日々が続いております。皆様、栄養管理と休暇はとれていますか。皆様の体調管理が、介護サービスの提供に大きく結びつくものと考えます。私は、医療短期大学の前身、福岡医療福祉専門学校で1期生でありました。卒後は、福岡リハビリテーション病院で5年間勤務しその後は、隣接のリハモール福岡に勤務しております。病院勤務時代は、発症前の状態に少しでも戻せるよう多職種と協働しておりました。同じ目標に向かい、チームアプローチすることで、変化した時の達成感や、喜びはこの仕事ならではの思いです。大きな変化、小さな変化、時間は要します。が、患者様利用者様そして職員が努力した結果と考えます。

介護を提供する場合は、病院・施設・通所・訪問、そして小児から高齢者まで幅広くあります。それぞれ、目的は異なるものの、一人では生活することが難しい、何らかの支援を要する方々です。その方が、どのように暮らしていきたいか、ご本人・ご家族が考える暮らしをサポートする事が私たちの役割と考えます。現在、介護の分野においては多くの施設や事業所が増え、競争激化している時代です。顧客(利用者・家族)は、施設・事業所を大いに選択できる現状です。私達は、選択して頂ける施設・事業所であってほしいです。学生の皆様は、他校にはない福岡医療短期大学ならではの得意分野があります。その得意分野を大いに活かし、施設実習や就職活動に励んで頂きたいと思う次第です。皆様と、共に働ける日を当施設、そして私は待っております。